

2017年 秋(9月~11月)の天候経過

平成29年12月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今秋(9月~11月)の特徴

【この秋は低温・多雨。9月・11月は多照、10月は寡照】

9月は移動性高気圧に覆われる日が多く、晴れた日が多かった。10月は台風や前線、低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなり、22日から23日にかけては台風第21号の影響により各地で大雨や大荒れの天気となった。11月は、上旬に移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、中旬以降は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多かった。

気温は、9月と11月は低く、10月は平年並で、3か月平均気温は低かった。

降水量は、10月はかなり多く、10月下旬の北陸地方の平年比は統計を開始した1946年以降で多い方の極値を更新し、3か月合計の降水量は多かった。

日照時間は、9月はかなり多かった。10月はかなり少なく、北陸地方の平年比は統計を開始した1946年以降で3番目に少なかった。11月は多く、3か月合計の日照時間は平年並だった。

2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	9~11月	9月	10月	11月
平均気温平年差	-0.5	-0.5	+0.1	-0.9
階級	低い	低い	平年並	低い
降水量平年比	121%	89%	176%	111%
階級	多い	平年並	かなり多い	多い
日照時間平年比	100%	129%	64%	110%
階級	平年並	かなり多い	かなり少ない	多い

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

3. 月別の天候経過

(9月)【移動性高気圧に覆われる日が多く、かなりの多照】

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが、上旬と下旬は移動性高気圧に覆われて、晴れた日が多かった。上旬は北からの寒気の影響で低温となった時期があり、月の気温は低かった。上旬の後半と下旬の後半は前線や低気圧の影響で大雨となったところがあった。また、17日から18日は台風第18号が北陸地方を通過し、大雨や大荒れの天気となったところがあった。

(10月)【台風や前線、低気圧の影響で、かなりの多雨、かなりの寡照】

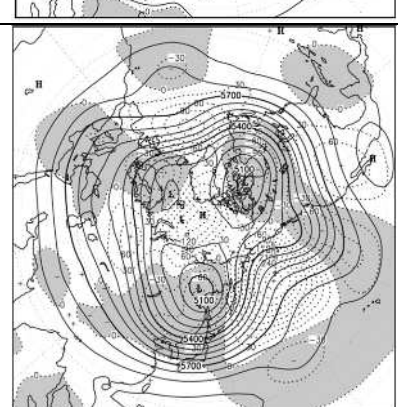
上旬は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。中旬は前線や湿った空気の影響で、下旬は台風第21号・台風第22号の影響で曇りや雨の日が多くなり、22日から23日にかけては台風第21号の影響により各地で大雨や大荒れの天気となった。このため、月の日照時間はかなり少なく、輪島と相川では月間日照時間の少ない方から2位を更新し、北陸地方の平年比は少ない方から3位を更新した(これまでの1位は1991年)。月の降水量はかなり多くなり、福井と敦賀では月降水量の多い方から3位を更新し、北陸地方の平年比は1980年に次いで多い方から2位を更新した。

(11月)【上旬は移動性高気圧に覆われることが多かったが、中旬以降は気圧の谷や寒気の影響を受けて、低温・多雨・多照】

上旬は移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北陸地方の上旬の日照時間は多い方から2位を更新した。中旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や、冬型の気圧配置となり寒気の影響を受けて、曇りや雨または雪の日が多かった。特に中旬の後半は大陸から強い寒気が流れ込んだため、平野部でも雪が降り、山沿いや山間部では積雪となった所もあった。また、このため北陸地方の各地で平年よりも5日から13日早い初雪となった。

4 . 大気の流れから見た今秋の特徴 (500hPa 天気図)

等高度線 (実線) の間隔は 60 m、ハッチ域 (陰影部) は平年より高度が低い部分 (負偏差域)、白抜き域は平年より高度が高い部分 (正偏差域) にそれぞれ対応している。

	<p>9 ~ 11月</p> <p>ユーラシア大陸から日本付近にかけて、高緯度側に負偏差、低緯度側に正偏差がみられ、南北の高度の差が大きかった。北日本では寒気の影響で気温が低い一方、沖縄・奄美では亜熱帯高気圧の勢力が強く、気温がかなり高かった。また、中緯度帯では平年より偏西風が強く、日本付近は秋雨前線の活動が活発だった。</p>
	<p>9月</p> <p>本州の東海上を中心に高度が低く、北日本から西日本にかけては寒気が流れ込みやすかった。一方、日本の南海上では高度が高く、亜熱帯高気圧の勢力が強かったため、沖縄・奄美では暖かい空気が流れ込みやすかった。また、西日本付近では、南の暖気 (高度場が高い) と北の寒気 (高度場が低い) の境界に位置し、前線の影響を受けやすかった。</p>
	<p>10月</p> <p>カムチャツカ半島を中心とする明瞭な負偏差域に近い北日本は寒気の影響を受けやすかった一方、東日本での寒気の影響は一時的で、西日本以西への寒気の南下は弱かった。日本付近では南北の高度差が大きく、偏西風は平年より強かった。これは、日本付近では秋雨前線の活動が活発で東・西日本中心に曇りや雨の日が多かったことに対応している。また、日本の南海上では亜熱帯高気圧が強く、沖縄・奄美はその勢力下で晴れる日が多かったことや暖かい空気が流れ込みやすかったことにより、顕著な高温となった。</p>
	<p>11月</p> <p>北極付近やアリューシャン近海にブロッキング高気圧が停滞し、東シベリアには極うずの一部が南下した。偏西風は日本付近で南に蛇行し、北日本から西日本にかけて寒気が流れ込みやすかった。一方、沖縄の南では亜熱帯高気圧が強く、沖縄・奄美では、前線や南からの湿った気流の影響を受けやすかった。</p>

5. 参考資料

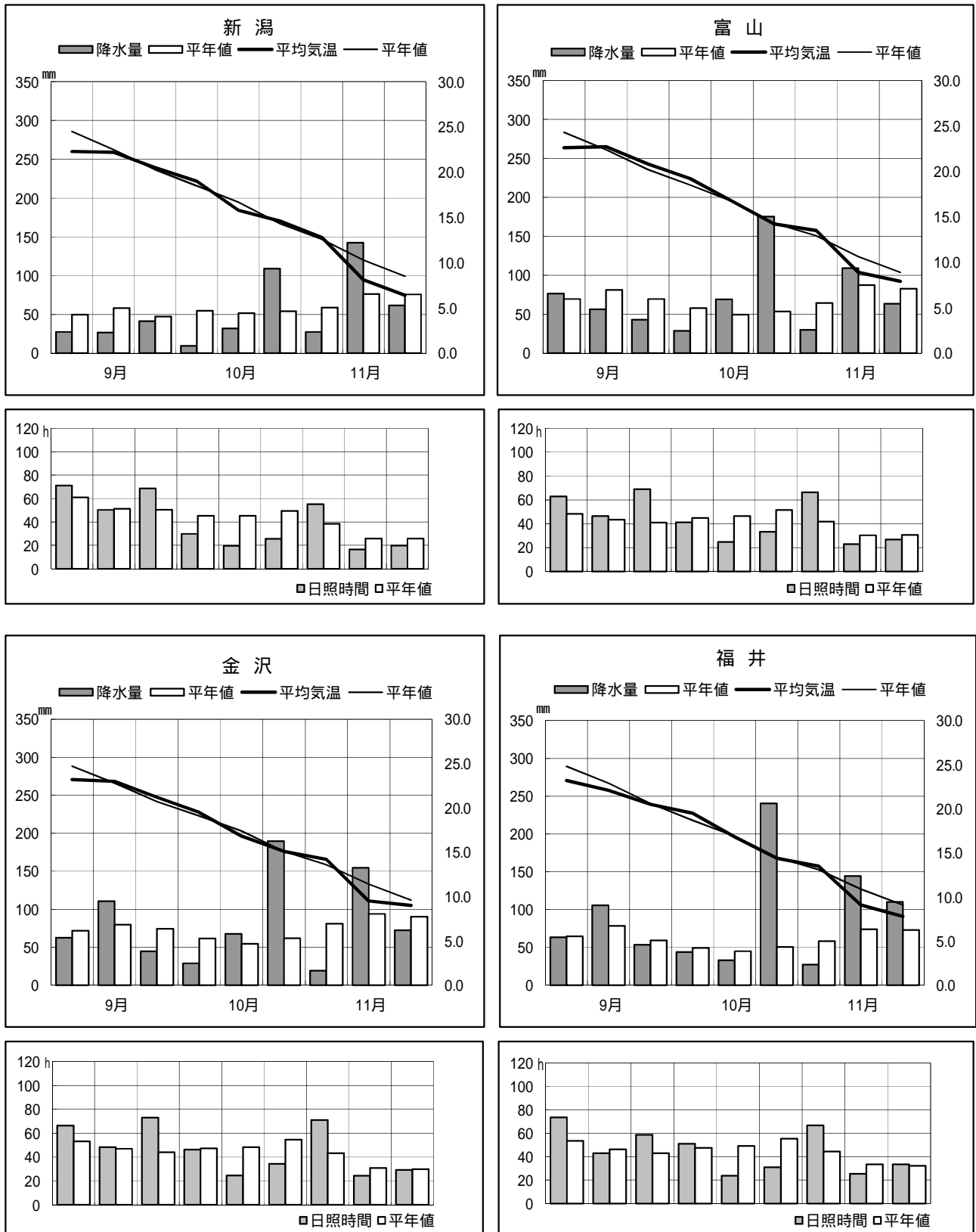


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における9～11月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	9月		10月		11月		3か月平均	
	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)
新潟	21.7	- 0.8 (-)	16.4	0.0 (0)	9.1	- 1.4 (-)	15.7	- 0.8 (-)
高田	21.4	- 0.6 (-)	16.0	0.0 (0)	9.0	- 1.2 (-)	15.5	- 0.6 (-)
相川	21.9	- 0.2 (0)	16.6	- 0.3 (0)	10.8	- 0.8 (-)	16.4	- 0.5 (-)
富山	22.0	- 0.3 (0)	16.6	+ 0.2 (0)	10.1	- 0.7 (-)	16.2	- 0.3 (0)
伏木	21.9	- 0.5 (-)	16.8	+ 0.2 (0)	9.8	- 1.1 (-)	16.2	- 0.4 (-)
金沢	22.4	- 0.3 (0)	17.1	0.0 (0)	10.9	- 0.6 (-)	16.8	- 0.3 (0)
輪島	21.2	- 0.4 (0)	16.2	+ 0.3 (0)	9.6	- 0.9 (-)	15.7	- 0.3 (-)
福井	21.9	- 0.8 (-)	16.8	+ 0.2 (0)	10.1	- 0.9 (-)	16.3	- 0.5 (-)
敦賀	22.8	- 0.6 (-)	17.7	+ 0.1 (0)	11.7	- 0.6 (-)	17.4	- 0.4 (-)
北陸平均		- 0.5 (-)		+ 0.1 (0)		- 0.9 (-)		- 0.5 (-)

降水量	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新潟	95.5	62 (-)	150.5	94 (0)	231.5	110 (+)	477.5	91 (0)
高田	194.0	94 (0)	364.5	173 (+*)	416.0	122 (+)	974.5	128 (+)
相川	111.5	78 (0)	190.5	152 (+*)	142.5	91 (0)	444.5	105 (0)
富山	176.0	80 (0)	273.0	170 (+*)	202.5	86 (-)	651.5	106 (0)
伏木	162.5	77 (-)	245.5	160 (+*)	204.5	89 (0)	612.5	103 (0)
金沢	217.5	96 (0)	286.0	161 (+*)	246.0	93 (0)	749.5	112 (+)
輪島	184.0	86 (0)	218.5	140 (+*)	302.0	133 (+)	704.5	118 (+)
福井	222.5	110 (0)	317.5	219 (+*)	282.0	137 (+)	822.0	149 (+*)
敦賀	218.0	116 (0)	424.0	314 (+*)	257.5	139 (+)	899.5	177 (+*)
北陸平均		89 (0)		176 (+*)		111 (+)		121 (+)

日照時間	9月		10月		11月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新潟	190.2	117 (+)	75.0	54 (-*)	91.6	102 (0)	356.8	91 (-)
高田	176.1	136 (+*)	82.6	61 (-*)	105.0	101 (0)	363.7	99 (0)
相川	196.2	129 (+*)	86.6	57 (-*)	86.8	92 (-)	369.6	93 (-)
富山	178.3	134 (+*)	99.2	70 (-*)	116.4	113 (+)	393.9	104 (0)
伏木	179.8	131 (+*)	100.3	69 (-*)	124.9	125 (+*)	405.0	106 (+)
金沢	188.0	130 (+*)	105.3	70 (-*)	124.8	120 (+)	418.1	105 (+)
輪島	184.9	134 (+*)	84.8	60 (-*)	90.5	102 (0)	360.2	98 (0)
福井	174.9	123 (+*)	105.8	70 (-*)	125.8	114 (+)	406.5	101 (0)
敦賀	171.0	123 (+*)	93.8	64 (-*)	129.4	122 (+)	394.2	101 (0)
北陸平均		129 (+*)		64 (-*)		110 (+)		100 (0)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない) , (0) : 平年並 , (+) : 高い (多い)

(- *) : かなり低い (かなり少ない) , (+ *) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

表2 北陸地方における9～11月の累年極値・順位（3位以内）更新

月間日照時間の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最小（西暦年） h	開始年	平年値 h
10	2	相川	86.6	57	73.1 (1917)	1911	152.4
10	2	輪島	84.8	60	82.3 (1945)	1929	142.0

月間降水量が多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最大（西暦年） mm	開始年	平年値 mm
10	3	敦賀	424.0	314	505.8(1945)	1897	135.2
10	3	福井	317.5	219	400.4(1945)	1897	144.9

6．北陸地方気象官署における寒候期現象（2017年11月30日まで）

表3 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今年	昨年	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.17	11. 2	10. 8	1981. 9.14
白山	金沢地方気象台	10.26	11. 2	10.17	1913. 9. 1

表4 初霜・初氷・初雪

空欄は期間内の観測なし

		初霜			初氷			初雪		
		今年	昨年	平年	今年	昨年	平年	今年	昨年	平年
新潟県	新潟	11.21	11.25	11.25	11.22	11.18	12. 1	11.19	12. 6	11.24
富山県	富山	11.21	11.18	11.20	11.22	12.12	11.27	11.19	12.10	12. 2
石川県	金沢	11.22	12. 12	12. 1		12.12	12. 9	11.19	12.10	11.29
福井県	福井	11.22	11.30	11.24	11.22	12.12	12. 2	11.24	12.14	12. 2

7．天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。